

## 第2回 津久井高等学校 学校運営協議会

日 時 令和7年12月16日（火）9時50分～11時40分

会 場 津久井高等学校福祉科デジタル室

内 容

委員からは、体験中心の地域探究ゼミの取組を今後も発展させていって欲しいとの意見が占めた。また、生徒の学びのうえでも21世紀型能力の育成につながっていることから、発表の場を校内にとどまらずに校外へも広げて欲しいとの意見が占めた。取組の成果を可視化する、たとえば、できるようになったことをグラフにして表すなどして示す工夫が欲しいとの意見もあった。取組が楽しかったで終わることのないように発表の機会を増やすなどして自分の役割を認識させることで主体性が育まれるとの意見もあった。



また、総合的な探究の時間に係るゼミと行政の連携も図れるのではないかと、まちづくりセンター等との連携で発表の場を増やすことなども考えられるのではないかと指摘もあった。

津久井高校が次のチャレンジとして、大学との連携を通した進路選択の充実、ICTの利活用、テーマによっては2年続きのゼミの実施（1年目は探究、2年目は発表を通じた考察の深化など）もありうるのではないかと指摘があった。地域と連携することで内容のブラッシュアップを図るとともに、学習活動の成果をパネルにまとめておくことで、文化祭や学校説明会等の場で活動を広くPRすることも考えて欲しい。また経済面で進学を後押しする施策も拡充されてきていることから、将来の展望を広げるという視点から上級学校への進学を促していくことも、学校の魅力のひとつとできるのではないかと。地域探究ゼミの取組から生徒が得た力は、上級学校への進学にも十分につながっていくと感じる。